



私たちは、信頼される・優しい・安全な医療を実践し、
地域と勤労者の皆様の健康を守ります。

「信頼・優しさ・安全」

労災病院が新しくなりました

院長 豊島 良太

令和元年から新病院の建設が始まり、令和3年2月に西側の約2／3部分が完成しました。ここには、入院病棟と外来の約半分そして血液・尿や画像などの各検査センター、救急部門を配置しました。

この度、令和5年6月に東側の部分が完成し、残った入院病棟と外来そして腎センターや化学療法室、薬剤部、栄養管理室、総合受付などが旧棟から移転しました。今回の完成によって、これまで分散していた外来を新棟の1,2階に病棟を3～6階にまとめることができました。

このため、入院と外来ともに各検査センターへのアクセスは良くなりました。また病床を若干減らして、病室やデイルームのスペースを広くするとともに、各階にリハビリテーション室を設置する事が出来ました。今回の新棟の完成により、「地域・救急医療の充実と患者さんの療養環境の飛躍的な向上」がより現実近づいてきました。

なお、北側に残った古い建物の取り壊しと玄関や外構、駐車場などの工事が令和7年7月まで続きます。もうしばらく、ご不便をお掛け致しますことご容赦、ご理解のほどお願い申し上げます。

昭和38年の開設以来、60年ぶりに新しくなった労災病院にご期待いただきますようお願い申し上げます。



令和5年7月に全面的に完成した新棟（左）と旧棟（右）、東南方向から。

食道・胃・大腸がんの内視鏡治療

消化器内科 副院長 前田 直人

以前は日本人の国民病といわれた胃がん、飲酒や喫煙がリスクとなる食道がん、近年患者数が著しく増加した大腸がんのうち早期の場合は内視鏡による治療が可能となりました。



内視鏡治療の適応

食道・胃・大腸とも、がんはまず粘膜に発生し、時間をかけてさらに深い粘膜下層→固有筋層へと侵潤します。現在、お腹を切らず内視鏡で切除できるのは、粘膜内にとどまったがん（粘膜内）です。このがんはリンパ節転移の可能性がほとんどないため、お腹を開けて、病変とともに周りのリンパ節を切除する必要がないと考えられるからです。（図1）

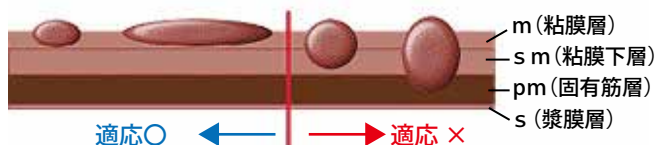


図1

ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術

数年前までは2cm以下の小さな粘膜内がんのみしか治療できず、それ以外はすべて開腹手術となっていました。しかし近年 ESD という手技が開発され、2cmを超えるものや潰瘍の傷あとをとともなう早期がんも切除できるようになりました。（図2）

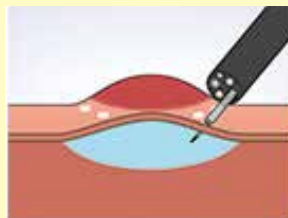
①マーキング

内視鏡を胃の中に入れ、病変の周囲に切り取る範囲の目印をつける



②局注

粘膜下層に薬剤を注入して浮かせた状態にする



③切開

マーキングを切り囲むようにナイフで病変部の周囲の粘膜を切る



④粘膜下層の剥離（はくり）

専用ナイフで病変を少しずつ慎重にはぎとり、最後まで剥離（はくり）する、または最後にスネアで切り取る



⑤回収

切り取った病変部は回収し病理検査に出す



⑥止血

切り取ったあとの胃の表面に出血がある場合は止血処理を施す

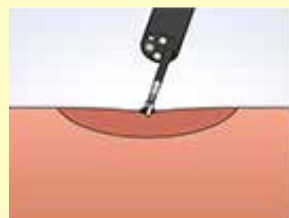


図2

治療にあたって

ESD を行うには病変の範囲・がん組織の性質を正確に判断し、かつ高度な治療技術が必用になります。山陰労災病院では、必要かつ十分な精密検査を行い、適応と判断した病変に対して ESD を行っています。適応以外の病変は外科と連携して、手術や化学療法で治療します。

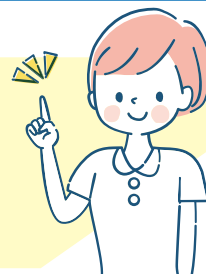
高気圧 酸素治療

安全で確かな治療を提供し、皆さまの健康に寄与いたします

高気圧酸素治療室では、突発性難聴をはじめさまざまな疾患の治療をしています。この治療では、装置の中に入り全身を加圧するため、装置の安全については確実な管理体制が求められます。当院においては、装置の操作から安全管理、日常点検までを臨床工学技士が担当し、チーム医療に貢献しています。高気圧酸素治療室では常に安全で確かな治療提供に努めております。

高気圧酸素治療とは

病気やケガで血管が狭くなり詰まってしまうことがあります。その先の血液の流れが悪くなり酸素が行き届きにくい状態が続くと、細胞が障害され機能が低下します。高気圧酸素治療は、そのような状態でも圧力を利用することで酸素を供給する治療です。



主な効果

- 体内酸素量の増加により、生体内の循環障害・低酸素状態の改善
- 酸素の抗菌作用を利用し、細菌の発育を阻害
- 生体内にできた気体を圧縮・再溶解することにより抹消循環を改善し組織の浮腫を軽減させる生体内気体の圧縮・溶解効果

当院での主な適応疾患

- 急性一酸化炭素中毒およびその他のガス中毒
- 脊髄神経疾患・急性動脈・静脈血行障害・網膜動脈閉塞症・突発性難聴
- 腸閉塞・重症軟部組織感染症



R4 年度 249 件



高気圧酸素治療装置（※酸素カプセルとは異なり、医療用治療装置です。）

高気圧酸素治療のお問い合わせは、地域医療連携室までお願いいたします。

夕涼み会

開催日

令和5年7月29日(土)

19時～20時 雨天中止

会場

労災病院 第2駐車場

催し

- 山陰労災病院万灯隊、がいな万灯伝承部による万灯妙技
- 花火 ●キッズダンス

全て無料 ポップコーン、かき氷、綿菓子、飲み物

全て無料ですが数に限りがあります

病院ボランティア募集

当院では、患者さんがより良い環境の下で安心して治療を受けることができるように病院ボランティアを募集しております。ご興味のある方はご応募お待ちしております。



活動内容

- 外来患者さんのエスコート(車椅子が必要な患者さんの介助)
- 入院患者さんの病棟までのご案内
- 各診療科へのご案内
- 初診窓口案内、再来受付機での受付案内(端末操作の補助)

活動日時

- 応相談

参加条件

- 年齢や性別問いません

多くの方からのご連絡をお待ちしております。 問い合わせ先(総務課) 電話:0859-33-8181

●2023年7月発行 ●ご意見等ございましたらお気軽にお問い合わせください E-mail:toiawase@saninh.johas.go.jp

問い合わせ先: 山陰労災病院総務課

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1丁目8番1号

TEL 0859-33-8181 FAX 0859-22-9651

ホームページ

さんいんろうさい

検索

